

# — 県 — 4人24団体に感謝状

## — 緑のトラスト基金等寄附

県は15日、さいたま市寄附に対する感謝状贈呈式を知事公館で開いた。多額の寄附をした



さいたま緑のトラスト基金は、埼玉の優れた自然と貴重な歴史的環境を真実共有の財産として後世に残すための資金とすることを目的として、1985年度に創設した。

一方、彩の国みどりの基金は、森林の保全整備や身近な緑の保

上田知事が感謝状を手渡した

全・創出などを県民参加により積極的に進めるため、2008年度に自動車税の一部と寄付金を財源として創設したもの。

贈呈式で上田知事は、基金によるみどり再生の実績を紹介した上で「小さな善意、大きな善意が埼玉を良くします。引き続きご支援、ご協力をお願いいたします」とあいさつした。

感謝状を贈呈された寄附者は次のとおり(敬称略)。

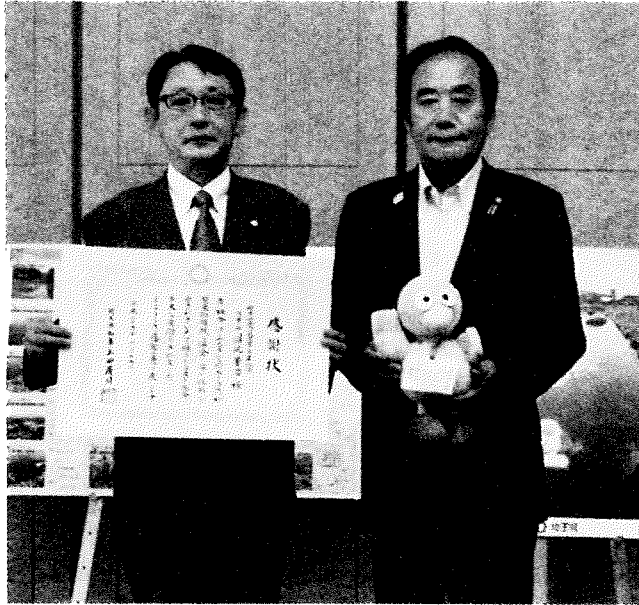
【さいたま緑のトラスト基金】  
▽埼玉りそな銀行▽武蔵野銀行▽埼玉縣信用金庫▽ヤマエンタープライズ▽庭研▽サイオー▽小沢道路▽オザワロード▽石坂産業▽埼玉真電気工事工業組合▽日興サービスマーケティング▽川口技研▽コープみらい社会活動財団▽ラスコム▽埼玉環境検査研究協会▽いるま野農業協同組合▽埼玉労働者福祉協議会

【彩の国みどりの基金】  
▽高畑陽馬▽関口工業グループ▽八洋▽本庄食肉センター▽井口一世▽コープみらい社会活動財団▽さいたま住宅検査センター▽文教大学父母と教職員の会▽埼玉支部▽高木秀治▽日本ハム▽ベルク

# 埼玉県

## 埼玉電工組に感謝状

### 「さいたま緑のトラスト基金」への寄付に対して



#### 17年間 継続

埼玉県（上田清司知事公館で行い、「さいたま緑のトラスト基金」へ毎年寄付している埼玉県電気工事工業組合から「さいたま緑のトラスト基金」への多額の寄付者に感謝状贈呈式を知事に出席した。

上田知事と島副理事長

席上、上田知事から同千5百ヘクタール減少し工組らの24企業・団体とていた埼玉のみどりを取り戻すため、平成20年度スコット「コバトン」がそれぞれ贈られた。

感謝状贈呈後、上田知事が、「本日は『さいたま緑のトラスト基金』及び『彩の国みどりの基金』に多大なご寄附を頂きまして、厚く御礼を申上げます。県内の優れた自然や貴重な歴史的環境を守るために『さいたま緑のトラスト基金』を設立し、県と地元市町村で土地を取得し、現在までに第1号地から第14号地まで約72ヘクタールの保全地を取得している。一方、『彩の国みどりの基金』では、知事就任当時、30年前と比べて約6

千5百ヘクタール減少し工組らの24企業・団体とていた埼玉のみどりを取り戻すため、平成20年度スコット「コバトン」がそれぞれ贈られた。

感謝状贈呈後、上田知事が、「本日は『さいたま緑のトラスト基金』及び『彩の国みどりの基金』に多大なご寄附を頂きまして、厚く御礼を申上げます。県内の優れた自然や貴重な歴史的環境を守るために『さいたま緑のトラスト基金』を設立し、県と地元市町村で土地を取得し、現在までに第1号地から第14号地まで約72ヘクタールの保全地を取得している。一方、『彩の国みどりの基金』では、知事就任当時、30年前と比べて約6

千5百ヘクタール減少し工組らの24企業・団体とていた埼玉のみどりを取り戻すため、平成20年度スコット「コバトン」がそれぞれ贈られた。

感謝状贈呈後、上田知事が、「本日は『さいたま緑のトラスト基金』及び『彩の国みどりの基金』に多大なご寄附を頂きまして、厚く御礼を申上げます。県内の優れた自然や貴重な歴史的環境を守るために『さいたま緑のトラスト基金』を設立し、県と地元市町村で土地を取得し、現在までに第1号地から第14号地まで約72ヘクタールの保全地を取得している。一方、『彩の国みどりの基金』では、知事就任当時、30年前と比べて約6